

## 令和元年度 共同生活援助（ホームにじ）事業報告

### I. 利用者支援の状況

#### 1. 入居者の状況

定員 22名 令和2年3月31日現在 在籍 21名（男性15名、女性6名）

	性別	年齢	障害支援区分	実施機関	住居	日中活動
1	男性	44	4	柏原市	ホームにじ	高井田苑すてっぷ
2	女性	41	3	柏原市	ホームにじ	高井田苑すてっぷ
3	女性	48	6	八尾市	ホームにじ	高井田苑
4	男性	52	4	柏原市	ホームそら	高井田苑
5	男性	28	5	八尾市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
6	女性	38	4	柏原市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
7	女性	54	5	八尾市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
8	男性	33	2	柏原市	ホームはれ	夢工房くるみ
9	男性	49	5	松原市	ホームはれ	高井田苑すてっぷ
10	女性	32	4	柏原市	ホームはれ	風の森
11	女性	29	3	交野市	ホームはれ	高井田苑
12	男性	49	4	柏原市	ひなた	高井田苑すてっぷ
13	男性	39	5	柏原市	ひなた	高井田苑
14	男性	62	4	柏原市	ひなた	高井田苑
15	男性	47	5	堺市	ひなた	高井田苑
16	男性	42	6	八尾市	ひなた	高井田苑
17	男性	46	4	柏原市	ひなた2	高井田苑
18	男性	49	5	寝屋川市	ひなた2	高井田苑すてっぷ
19	男性	33	5	柏原市	ひなた2	高井田苑
20	男性	49	5	東大阪市	ひなた2	高井田苑
21	男性	46	5	柏原市	ひなた2	高井田苑
22						

#### 2. 健康管理

今年度より共同生活援助に看護職員を配置し、地域の医療機関と連携を取りながら健康管理に努めた。看護職員が定期的に各住居を巡回することで、利用者の体調を確認し、早期の体調変化等の状態把握を行えた。

高井田苑の生活介護サービスを利用している利用者は高井田苑の他利用者とともに定期健康診断は年2回、歯科健診は年1回実施した。11月にインフルエンザの予防接

種を行った。

他法人の日中サービスを利用している利用者はそれぞれの事業所の健康診断とインフルエンザの予防接種を行っている。

毎月1回体重測定を実施している。

新型コロナウイルス感染拡大の対策として利用者、職員の検温を行い、玄関に消毒液を置いて帰宅後に消毒する等の予防に努める。また、利用者、職員に手作りマスクを配布し感染予防に努める。

### 3. 栄養管理

夕食と休日の昼食はタイハイ株式会社のケアホームメニューを利用し、栄養計算された食事を提供している。

朝食は生活支援員が中心に、買い物や大阪いずみ市民生活協同組合を活用して食材の調整を行う。

3月よりひなたは休日の昼食メニューを利用者や職員にアンケートや意見を聞いて献立を考える等、利用者が希望するメニューの提供に取り組んでいる。

### 4. 安全管理

各ホームには消防署への火災通報設備を設置、避難誘導灯、消火器を設置している。

ひなたはスプリンクラーも設置している。

1月にフジタカ防災設備に依頼し各住居の消防設備点検を行った。

年2回、火災を想定した避難訓練を実施した。

## II. 職員体制

### 1. 職員数

職名	施設長	サービス 管理責任者	生活 支援員	世話人	看護師	事務員	合計
常勤	1(兼務)	1	2		2	3(兼務)	9
非常勤			2	23			25

### 2. 会議の運営

毎月ホームはれが第2火曜日、ホームにじが第3火曜日、ホームそら第4火曜日サービス管理責任者と生活支援員と世話人が参加し、9:30~11:00で世話人会議を開催。

ひなたは定期的な会議が行なえていないが、世話人会議を行っている。

世話人会議では運営上課題となる事項や利用者支援に関わる事例を検討し、情報の共有を図った。

### 3. 研 修

大阪知的障害児者生活サポート協会主催による世話人研修が「ひなた」で開催され生活支援員、世話人が参加した。当日はひなたの見学とNPO法人だんでらいおん久保統括施設長と粟根施設長を講師に「利用者支援に関する日常的な困りごとへの対処や虐待行為などについての理解」というテーマでの講演とグループ討議を行った。

また、管理者による人権研修をひなたで2月に行った。

大阪知的障害者福祉協会の地域支援部会に4回サービス管理責任者と生活支援員が参加し、他事業所の運営方法や考え方などの情報を得る。

## Ⅲ. 余暇支援

### 1. 移動支援・行動援護サービスの利用

ホームにじ、ホームそら、ホームはれの利用者全員がさんぼーとの移動支援、行動援護サービスを利用して休日の外出機会を持つことが出来るようになった。

ひなたの利用者も5名がさんぼーとの移動支援、行動援護サービスを利用して休日に外出をしている。

今年度は、さんぼーとと調整し、日中の外出だけでなく、夕方からサービスを利用して夜に出かける機会を増やした。

3名の利用者は他法人の移動支援サービス等を利用している。

### 2. じゃむの会、さえらの会に参加

地域生活支援センターさんねっとのじゃむの会、さえらの会にホームにじの利用者が不定期であるが参加し、地域にお住まいの当事者の方と交流を図る。

### 3. 6月にひなたの1階スペースでグループホーム全体行事と各住居よりホットプレートを持ち寄って焼肉を食べる。

1月にひなたで新年会を行う。新年会は利用者にも積極的にクッキングに参加してもらい、各自に役割を持って参加してもらった。

## Ⅳ. 短期入所事業

ひなたの建物内に短期入所事業用のスペースがあり、利用定員4名分の居室がある。

現在3名の方と契約し、1名の方が定期的に利用されている。